



CAMPUS NEWS RIKKYO NIIZA

No.83
— July 2021 —



立教新座中学校・高等学校

- 特集 -

OB 講話会

- SPECIAL INTERVIEW -

卒業生インタビュー

「自由に考えて行動する力」 / 「立教新座での挑戦が今の私の基盤に」

| OB講話会 |

LECTURE



多様なキャリアのOBによる講話を通じて 自らの将来像を描きリーダーシップを育む

2021年5月、高校1年生を対象に「OB講話会」を実施しました。

お招きしたOBは、医師や弁護士、技術系公務員、ミュージシャンなど
さまざまな分野で活躍する13名。

生徒たちは大学進学やその先のキャリアについて話を聞き、
自身の将来について考えました。

また、当プログラムは講話会後にクラスに戻り、他のクラスメイトに自分が聞いたことを
正しくわかりやすくアウトプットするリーダーシップの基本を学ぶ機会にもなっています。

今号では貴重なお話をしてくださった講師お二人のインタビューをご紹介します。



入学直後に多様な将来像に触れる

OB講話会は高校1年生を対象としたプログラム。入学直後に
多様な将来像を直接目にすることで、自らの未来について思い
をめぐらせる機会となっています。例年十数名のOBが来校し、
大学生活、進路決定、仕事のことなどを話していただきます。



生徒たちも主体的に参加

生徒たちはただ話を聞くだけでなく、その後自分のクラスに
戻り、講話についてクラスメイトに向けて発表します。講師が語
る内容にしっかりと耳を傾け、疑問点は積極的に質問し、得たも
のを発信する体験を通じてリーダーシップの基礎を学びます。



2001年度卒業生

増子 亮 さん

Ryo Masuko

| Profile |

2002年 立教新座高等学校卒業

2006年 立教大学社会学部社会学科卒業

2006年 東日本電信電話株式会社(NTT東日本入社)

2020年7月より ネクストモード株式会社 勤務

自由に考えて行動する力

私は現在、2020年7月にNTT東日本とクラスメソッド株式会社が共同で起ち上げたネクストモード株式会社という会社で働いています。営業部門の責任者として、法人に対して「クラウドを使ってより効率的で新しい働き方をしませんか」と提案するのが私の仕事です。

私は、小学校から大学まで立教で過ごしました。自由な校風のなかで過ごしたからか、正直言って会社勤めということにどこか息苦しさを感じていました。今回、親会社の資本金を元に社内起業としてネクストモード株式会社が立ち上がる話を聞き、「新しい会社を作っていきたい！」と手を挙げて参加させていただきました。コロナ禍でテレワークが推奨されるようになる前から全社において完全リモートワークが決まっていました。2020年7月に設立しましたが、オンラインでの商談など当初の予定通り、順調にスタートを切ることができました。

完全リモートワークのため、時間の使い方、働き方はすべて自分自身で決めています。私自身はこの状況はまったく苦ではなく、むしろのびのびと、意欲的に仕事を進められています。それは「自分の責任のもとで自由に考えて行動する」という立教で培った力が発揮されているのだと実感しています。小学生から大学生まで続けた剣道部での活動もそうでした。例えば、強豪校は規則で坊主にしていくところが多いのですが、そこに重きをおかず自分たちならではの方法で強くなるというのが私たちのモットー。練習メニューを自分たちで考えるなど自主的に動くことで団結力を高めていきました。決して粒ぞろいではありませんでしたが、関東大会に進むことができました。高校ではキャプテンと

して仲間とどうすれば強くなるかを考えるのも楽しかったですね。自分の意見を押しつけず、メンバー個々の良さを生かしていく大切さは、現在の部下との接し方にもつながっています。部下を「管理する」のは違うなど。どうすればみんなが働きやすく、それぞれの力を発揮できるのかを考えるようにしています。

立教新座の魅力は、何と言っても男子校ならではの仲の良さ。どんなことでも打ちあけられる、いるだけで安心できるというほどのつながりは、ほかではなかなか味わえないのではないのでしょうか。私の友達のほとんどが立教出身ということがそれを物語っているかもしれません。高校時代を振り返ると、友だちと買い物をしたり、テストが終わった後、ポーッと柳瀬川を見たり、高校卒業後に車の免許を取ってみんなで海までドライブしたり、思い出は尽きません。

社会人になっても立教の友人とルームシェアをしたり、時間をつくってはみんなで会ったりしていました。結婚など人生のイベントがあっても変わらないですね。これからもずっと続いていく関係だと思います。子どもを寝かしつけた後にみんなでオンラインゲームをしているときはみんな学生です(笑)。

先の見えない不安な状況の中、いつもにも増して悩んでいる人が多いかも知れません。私から伝えたいのは「君は君で変わらないので、思ったことを少し、一歩でも踏み出すことで世界が変わるかも知れない」ということ。ただし、肩ひじを張らないように。挑戦はしつつ、やりたくなければやらない、やりたいことはやる、というベースで進んでいってほしいです。

(取材:2021年5月)



SPECIAL INTERVIEW

卒業生インタビュー

2000年度卒業生

町田 智大 さん

Tomohiro Machida

| Profile |

2001年 立教新座高等学校卒業

2005年 立教大学理学部物理学科卒業

2007年 立教大学理学研究科物理学専攻修了

現在 テルモ株式会社 勤務

立教新座での挑戦が今の私の基盤に

私が立教高校を選んだ理由は2つあります。1つは、立教大学大学院(理学研究科)と理化学研究所が連携しており、学部生でも先進的な研究に触れられると思ったからです。もともと数学が好きで理系の大学に進学しようと考えていたこともあり、立教高校に入れば理系に強い選択肢を得られると思いました。入学当初は数学の道に進むつもりでしたが、高校で物理の実験のおもしろさに取りつかれてしまいました。もう1つは、広いグラウンドを見て、こういうところでスポーツができればいいなと思ったこと。受験勉強の必要がない分、部活に力を注ぎたいと思っていたので決め手の1つになりました。

「もともと物理が得意だったんでしょ?」とよく聞かれますが、「いいえ」です(笑)。当時も物理の先生に理学部に進学することを報告したら「今すぐやめてこい」と(笑)。それが最終的には大学院にまでいったのは、仮説を立てて実験して、なぜ予想と違うのかを考えることへの好奇心が沸き起こり続けたからです。大学4年次は、希望通り理化学研究所に出入りすることができ、もっと実験したいという欲求にかられました。修士論文は、放射性同位体の性質を利用して放射線を検出する装置の回路を製作。大学、大学院と、興味を探究し続けることができ、さまざまな実験に明け暮れた6年間でした。

高校では、それまで運動が苦手だったので、経験がなくても始められるアメリカンフットボール部を選びました。人とぶつかり合う怖さは半年くらいで、あとはとにかく楽しかったです。1年生の終わりくらいに社会人チームでの選手経験がある方がコーチとして教えてくださるようになって、そこからぐんぐん強くな

りました。最終的には関東大会や全国大会ベスト16くらいまでいったんですよ。スポーツ推薦でもない、体格も比較的普通という私たちのチームがここまで強くなったのはコーチのおかげ。卒業後20年近くたった今も数年に1回集まるほど仲間とのつながりは強いです。

優しい先輩、厳しい先輩、個性豊かな人たちがたくさんいましたが、試合の時はため口でOK、先輩後輩関係なく本音を言い合えるのもよかったですね。チームのため、強くなるためのことであれば何を言っても認めてもらえたので、コミュニケーションをとるのが得意ではなかった私も、いつの間にか人と話すのが楽しくと心から思うようになりました。アメフト部での経験が私の人間性に与えた影響は相当なものです。

現在は、医療機器を扱う会社で海外のマーケティングを担当し、海外企業を相手に医療機器のDX(Digital Transformation)を提案しています。月の3分の1以上は海外出張の日々。国も人種も異なる人たちと仕事をする上で大切なことは、違うことが当たり前ということを前提に、フィルターを通さず、構えずに相対し、信頼関係を築くことです。高校時代に鍛えられたコミュニケーション力が生かされていると思います。新型コロナウイルスの影響で、昨年は医療機器の必要性が特に高まりました。国内の医療従事者のみなさんに貢献しながら、状況が落ち着いたら途上国など海外にも支援の場を広げていきたいと思っています。

立教高校でさまざまなことに挑戦したことは、今の私をつくる基盤となりました。みなさんも、何か頑張れることをみつけて、思い切りやり切ってほしいと思います。

(取材:2021年5月)

<公式 Web サイト・SNS について>

本誌の内容は、本校 Web サイトや SNS でもご覧いただけます。また、Web サイトや SNS では、本校での出来事など、日々の学校生活の様子が垣間見られるような情報や写真を発信しています。ぜひ、ご覧ください。



※在校生への緊急時のお知らせは「立教新座配信メール」で確認してください。

CAMPUS NEWS RIKKYO NIIZA

キャンパスニュース 立教新座

2021年7月1日発行 第83号
発行/立教新座中学校・高等学校 教務・入試広報課
〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25
TEL.048-471-6648 [入試窓口]
<https://niiza.rikkyo.ac.jp/>

2021年5月取材。取材・制作等に際して十分な配慮を行っています。